

# いざ、かがしま総文へ!

第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会が7/29～8/4に鹿児島県内で開催される。本校からは、美術部、書道部、写真部、放送部、新聞委員会の5団体が参加する。神奈川県内では1校あたりの出場数は、最多となる。各団体の活躍が期待される中、代表者にインタビューした。



美術部の佐藤優月(3年)さんが、全国大会に出品する作品は、「共生」というタイトル。植物と人工物の共生をテーマにした透明水彩で、サイズは50号。佐藤さんは、「全国の高校生作品を見て、たくさん吸収したいです。」と熱く話した。

放送部の小池夏織(3年)さんは、角田光代さんの「キッドナップ・ツアー」を朗読する。聴きどころは、父親の存在感について。小池さんは、「最後の大会なので、悔いが残らないように、聴いてくださる方々へしっかりとお届けしたいです。」と笑顔で話します。

書道部の飯浜蒼(2年)さんの全国大会に出品する作品は、「石台孝経」という作品。薄い黄色の紙に、黒の墨で描かれた、およそ60×240cmの大きさになる。飯浜さんは、「卒業生もこの作品に携わっていて、関心を持ちました。書体も自分にあったものでした。」更に全国大会へは、「部全体の気持ちを持って、全国の作品を肌で感じ、部にも還元したい。」と笑顔で話していた。

新聞委員会の菊地莉佑(2年)さんは、日々の「こゆるぎ新聞」と「トピックス」の編集作業を、「生徒に手に取ってもらいやすく、身近な話題を提供、早く情報を伝えること」を念頭に置いた活動をしたと振り返った。菊地さんは、「全国の高校生が編集した様々な視点の新聞を見れること、一年間学んできた新聞の技を生かし、交流新聞の作成もできたら楽しみです。」と笑顔で話していた。

写真部の久保小夏(2年)さんが今回出品するのは、「reverberation」。屋上でサックスを空に向かって構えている写真。撮影時、良い感じの風と太陽の光が、ちょうどよく訪れた瞬間にシャッターを押したとのこと。久保さんは、「全国から出品された写真や高校生と交流して、自校の写真部へ還元したい。」と力強く話していた。

## 新たな飛躍に支援の推しを!

会長 八巻達也

いつも後援会の活動にご支援いただき、心から感謝申し上げます。部活動では、新型コロナウイルス感染症の影響による制限や苦難を乗り越え、その期間で蓄積された知識と技術を成就させるために懸命に頑張っています。会員みなさまと一緒に楽しく応援する喜びを分かち合いたいと思います。いままで通り後援会は、学校と連携して部活動を支援していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 支援を力に!

校長 直理賀一

コロナ禍が明け、部活動の大会も入場規制がなくなり観戦が可能となりました。仲間や保護者、卒業生の「応援」が力になって、実力以上のものを発揮する場面を見ると、向上高校らしさが戻ってきたと感じます。皆さまのご支援も生徒の大きな「力」となっています。関東大会や全国大会に出場する部活動、また生徒へのご協力をお願いいたします。

### WEBページ開設!

[https://www.kojo.ac.jp/supporters\\_main/](https://www.kojo.ac.jp/supporters_main/)

向上高等学校ホームページに後援会のページを開設しています。会報とともに楽しみください。

こちらからもご覧いただけます。



# ご支援をいただいた 各部活動報告



## 放送部

放送部は昨年7月、第69回NHK杯全国高校放送コンテストにおいて、創作ラジオドラマ部門、ラジオドキュメント部門、研究発表部門で出場した。結果は、準々決勝で惜敗。次年度への良い経験となった。

さらに、今年1月には、第20回関東地区高校放送コンクール埼玉大会に、朗読部門で片居木悠月さん(3年)が出演。残念ながら、入賞は逃したものの、当日は、角田光代作の「ランドセル」を朗読し観客を魅了した。



## 書道部

書道部は、昨年「第46回全国高等学校総合文化祭書道部門」へ出場。日程は、7月31日、8月2日～8月4日に東京都台東区(東京都美術館)にて開催。8月2日は、「かつしかシンフォニーヒルズ」にて開会式、講評会は翌8月3日に同会場にて行われた。他県参加生徒との交流会も行われ、良い交流もできた。



## チアダンス部

今年1月、Dance Drill Winter Cup 2023(第24回全国高等学校ダンスドリル冬季大会)に出場。結果は、第4位であった。顧問の花岡愛先生は、「迫力のある演技ができた」と話していた。

また3月には、USA School&College Nationals 2023全国選手権大会のSONG/POM部門に出場した。曲目は8曲からのミックスした曲を使用。結果は第4位で、審査員からは「とてもシャープで、バランスの良い演技」と評価された。この結果でフォトジェニック賞に入賞した。



## 新聞委員会

新聞委員会は、昨年8月1日から東京都千代田区(三輪田学園中学校・高等学校)で開催された第46回全国高等学校総合文化祭東京大会新聞部門大会に参加した。全国大会では今年度も、研修取材も含めて感染対策を講じて、例年通りに

実施。年間紙面審査の各賞受賞校の発表、表彰が行われ、本校は優秀賞に入賞した。現地では交流新聞を作成するため、東京都内の施設や名所などをグループ毎に取材し、B4判両面での紙面作成を行った。



## 美術部

美術部の梅澤芯さん(3年)は昨年「第46回全国高等学校総合文化祭美術工芸部門」に参加。日程は7月31日、8月2日～8月4日に東京都台東区(東京都美術館)にて行われた。

美術工芸部門は各都道府県から推薦された「絵画、版画、彫刻、デザイン、工芸、映像」など約400点の作品が都内の会場で展示された。書道部門との合同展示で、本校書道部とともに全国の高校生に発表が出来た。



## 女子ソフトボール部

今年3月、第53回東日本高等学校女子ソフトボール大会(栃木県)に出場した。結果は、予選リーグで2試合中、引き分け、1敗となり、2部トーナメントへ。1回戦さくら清修高(栃木)に5-4で勝ち、2回戦目に江戸川高(東京)と対戦し、惜敗した。

顧問の山内実咲先生は、「選手とコミュニケーションをとって、全国大会出場めざして頑張ります。」と次への想いを語った。



## バレーボール部(男子)

今年6月3日~4日に千葉県「船橋アリーナ」にて第77回関東高等学校男子バレーボール大会が開催された。結果は、1回戦に日本学園と対戦し、19-25、17-25で、セットカウント0-2で惜敗した。チームキャプテンの笠原悠矢さんは、「思うようなバレーボールが出来ず、悔しく思います。自分たちでリズムをつくって、自分たちの思うバレーボールをしていきたい。」と熱く語った。



## 吹奏楽部

吹奏楽部は、昨年10月2日に千葉県千葉ポートアリーナで第28回関東マーチングコンテストA部門に出場した。結果は、銅賞。今回、披露した曲目は「スピリット・オブ・セントルイス」で参加し会場を魅了した。顧問の武田俊彦先生は、「努力が結果に現れず、悔しい。」と想いを語った。



## レスリング部

レスリング部は、今年2月4日~5日に栃木県足利市「FUKAI SQUARE GARDEN足利」にて第49回関東高等学校選抜レスリング大会が開催された。渡慶次優真(2年)さん、佐藤征弥(2年)さん、村松大輝(1年)さん、柳田大河(1年)さんがフリースタイルで出場。佐藤さんは、ベスト16入りを果たした。

また、今年6月3日~4日に埼玉県熊谷市「熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム」にて第69回関東高等学校レスリング大会が開催された。60kg級に出場した村松大輝(2年)さん、71kg級で篠田昂(3年)さん、92kg級では渡慶次優真(3年)さん、同じく石井駿匠(1年)が出場。結果は、初戦で惜敗した。大会後、顧問の和田宗法先生は、「全員が初心者よりスタート。関東まで行けた事は良かった。この後の大会で全国へ1人でも多くの選手を出場させたい。」と語った。



## 文芸部

昨年8月に関東学院大学にて、第23回関東地区高校生文芸大会(神奈川大会)が行われ、本校からは9名の部員が参加した。当日は、講師の方からの講演会や他校の部誌の合評会などを通じて良い経験となった。

顧問の大塚花織先生は、「今回の経験を今後の部誌編集に生かし、皆さんに楽しんで頂けるよう努めていきます。」と話していた。



# 後援会 会計報告 いただいたご支援 有効に

昨年度も皆様方からのあたたかいご支援、ご協力をいただきありがとうございました。

未だ続くコロナ禍で、感染対策を講じながら、熱心に活動している生徒たちのために、部活動をバックアップしていきたいと考えております。

今年度の後援会運営委員総会は、感染予防策を講じて、開催いたしました。

ここに、承認された令和4年度決算、令和5年度予算をご報告いたします。

(役員一同)

2022年度

## 向上高等学校後援会「協力金」寄付者ご芳名

(2022年4月～2023年3月)

ご寄付いただいた方の中から、広報物への掲載の許可をいただいた方のお名前を掲載させていただきます。

ご寄付者総数 99名(企業様含む)

〔企業の皆様〕	川崎美研様	〔個人の皆様〕	秋澤友紀様	西脇兼介様	山口実希子様
	株式会社ミヤダイ中央社様		大木邦男様	能條恵子様	横山栄子様
	有限会社小島造園土木様		小川康晴様	藤澤恵美様	吉澤正子様
	株式会社横浜総合写真様		荻窪末一様	八巻達也様	渡辺寿男様
有限会社湘南マット様	夏苺栄様	山口高史様			

皆様のご協力に対し深く感謝を申し上げますと共に、今後一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



「在校生の保護者」、「卒業生」及び「元保護者」「向上高校教職員」を会員として、向上高等学校における部活動の充実発展のため、皆様から寄せられた協力金で、その活動を奨励、支援するための組織です。

協力金は、新入生の保護者より拠出を得ると共に、会員の皆様から協力金を募り、事業資金とします。主な事業は、関東大会や全国大会に出場する部活動の支援・援助です。

皆様、お一人おひとりが、本会の会員です。何とぞ主旨をご理解の上、ご協力のほどよろしく願いいたします。

### 1. 収入の部

(単位：円)

科目	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算	備考
前年度繰越金	11,203,171	11,203,171	13,727,855	
協力金 1	5,500,000	5,500,000	5,440,000	新入生544名
協力金 2	500,000	487,709	500,000	一般協力金99名(企業様含む)
利息	100	128	130	
大会補助金等	140,000	6,200	30,000	
合計	17,343,271	17,197,208	19,697,985	

### 2. 支出の部

(単位：円)

科目	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算	備考
生徒後援費	6,000,000	2,527,826	6,000,000	
通信費	60,000	40,956	60,000	会報発送費等
雑費	255,000	143,922	150,000	お花代、会議費等
印刷費	300,000	277,871	320,000	「がんばれ向上」印刷等
委託費	500,000	446,778	500,000	協力金決算フォーム作成等
交通費	100,000	32,000	100,000	役員交通費
小計	7,215,000	3,469,353	7,130,000	
繰越金	10,128,271	13,727,855	12,567,985	
合計	17,343,271	17,197,208	19,697,985	

### 令和5年(2023年度) 向上高等学校後援会役員

(向上高等学校後援会規程抜粋)

会長	八巻 達也(卒業生)
顧問	直理 賀一(校長)
副会長	横山 栄子(卒業生)
副会長	吉澤 正子(保護者)
副会長	水谷 正公(教頭)
書記	大石 視朗(元保護者)
書記	溝上 佑美(事務次長)
会計	吉澤 正子(元保護者)
会計	竹田 亮介(教職員)
監事	田中 修(元保護者)
監事	植原 大樹(教職員)
参与	山口 高史(元保護者)
参与	能條 恵子(元保護者)

### 編集後記

マスク生活も落ち着き、部活動は、ほぼコロナ前の活動ができるようになりました。部員や保護者の応援も可能になってきています。夏本番、生徒たちは、ここまでの練習の成果を实らせることでしょう。私たち後援会は、参加生徒へ精一杯の「エール」を送ります。